



O'REILLY®

PHP技術者認定試験と NPO法人PHP技術者認定推進機構発起人会 第1版

Contents

1. ニュース&トピック
2. PHP技術者認定機構とビジネスモデル
3. 試験概要
4. 理事長、顧問、副理事長のプロフィール

2010年7月31日

PHP技術者認定機構
発起人会

P.O

Copyright © PHP技術者認定機構 発起人会 All Rights Reserved.



ニュース&トピック

報道発表：PHP技術者認定機構発起人会 発足

PHP技術者認定試験の運営母体「NPO法人PHP技術者認定機構」、株式会社オライリー・ジャパンやPHP・OSS業界人らで推進

～PHP教育業界の受講料金削減と利益率向上を目指した新ビジネスモデルを採用～

NPO法人PHP技術者認定機構発起人会（代表者：吉政忠志、所在：東京都世田谷区、以下「PHP技術者認定機構」）は、2010年10月にベータ試験を開始するPHP技術者認定試験の運営母体設立のため、本日発足しました。PHP技術者認定試験は国内発の民間IT試験としては初めて市販本を主教材として採用した試験になります。このビジネスモデルによって、PHP教育業界の受講料金削減と利益率向上の両立を実現します。試験開始より3年間で5,000人の合格者を輩出し、PHP技術の普及とPHP技術者の技術力向上を目指します。

本発表はITpro (OSS部門デイリーアクセスランキング1位獲得)、@IT、CodeZine、日刊工業新聞、Yahoo!ニュース、livedoorニュース等主要メディアに掲載されました。



← 翔泳社 Codezine ちゃん

アクセスランキング			
オープンソース/Linux		情報システム	
昨日	週間	昨日	週間
2010年07月27日			
1	【ニュース】日本独自のPHP技術者認定試験、オライリーなどがNPO法人設立し実施へ		

アクセスランキング			
オープンソース/Linux		情報システム	
昨日	週間	昨日	週間
2010年07月24日～07月30日			
2	【ニュース】日本独自のPHP技術者認定試験、オライリーなどがNPO法人設立し実施へ		

アクセスランキング			
オープンソース/Linux		情報システム	
昨日	週間	昨日	週間
2010年07月27日			
6	【ニュース】日本独自のPHP技術者認定試験、オライリーなどがNPO法人設立し実施へ		



報道発表文章原文：
<http://www.oreilly.co.jp/pub/pr-php-exam20100726.pdf>

その他情報更新

- PHP技術者認定機構のtwitterアカウントを公開しました。
<http://twitter.com/phpexam/>



市場観

日本国内情報処理サービス技術者総数



101.2万人

2010年5月経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」

PHP技術取得者率12.6%

PHP技術取得希望者率25.9%



2008年@IT調査結果

推定PHP技術者総数：約12.7万人
推定PHP技術取得希望者数：26.2万人



市場性・必要性

【市場性】

- WEB・インターネットの普及と発展
- 便利になる世の中とそれを生むインターネット関連サービス
- PHPというプログラミング言語とその位置
- PHPの特徴
 - 世界的・グローバルな環境
 - プログラミングのし易さ・高くない参入障壁

【必要性】

- 日本におけるPHP技術
- オープンソース・成果物のビジネス活用



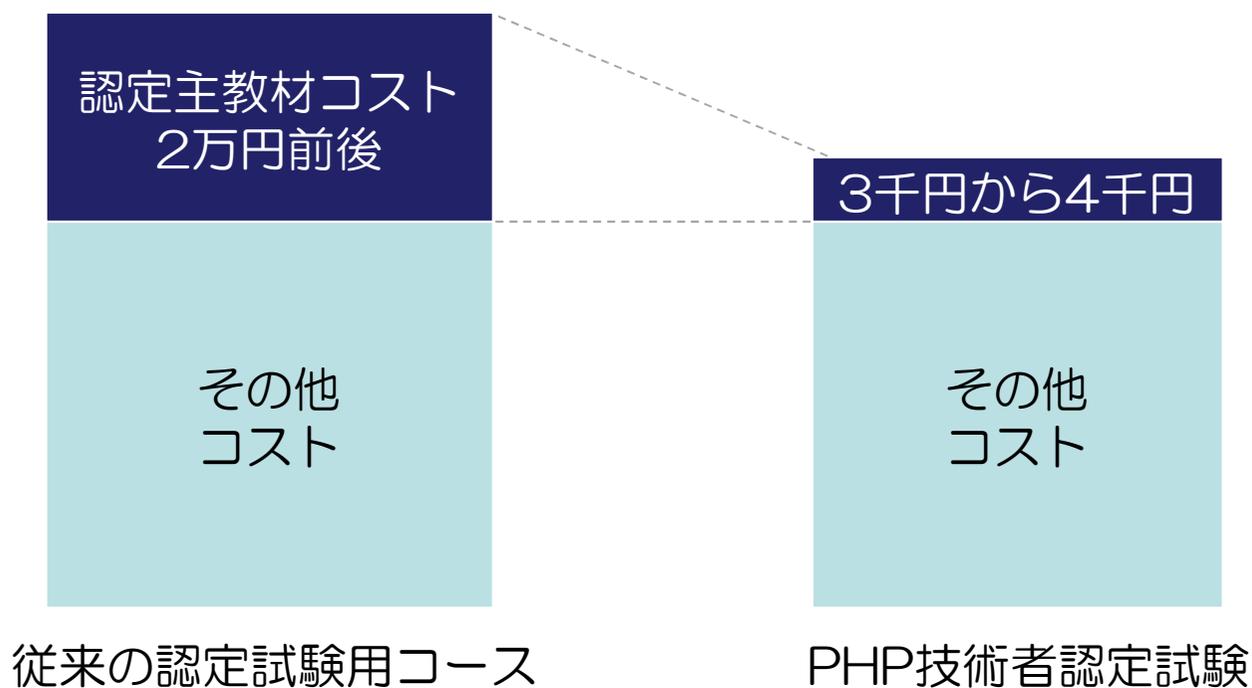


PHP技術者認定機構とビジネスモデル解説



ビジネスモデル

- テーマ：認定スクールの利益率向上と受講料金の引き下げを目的とします
- 手法：市販本を採用したローコストオペレーションによる認定試験の運営



技術的権威が高いオライリー社の技術本を主教材として採用することで、認定試験運営のコスト全体を下げる事が出来るようになります。



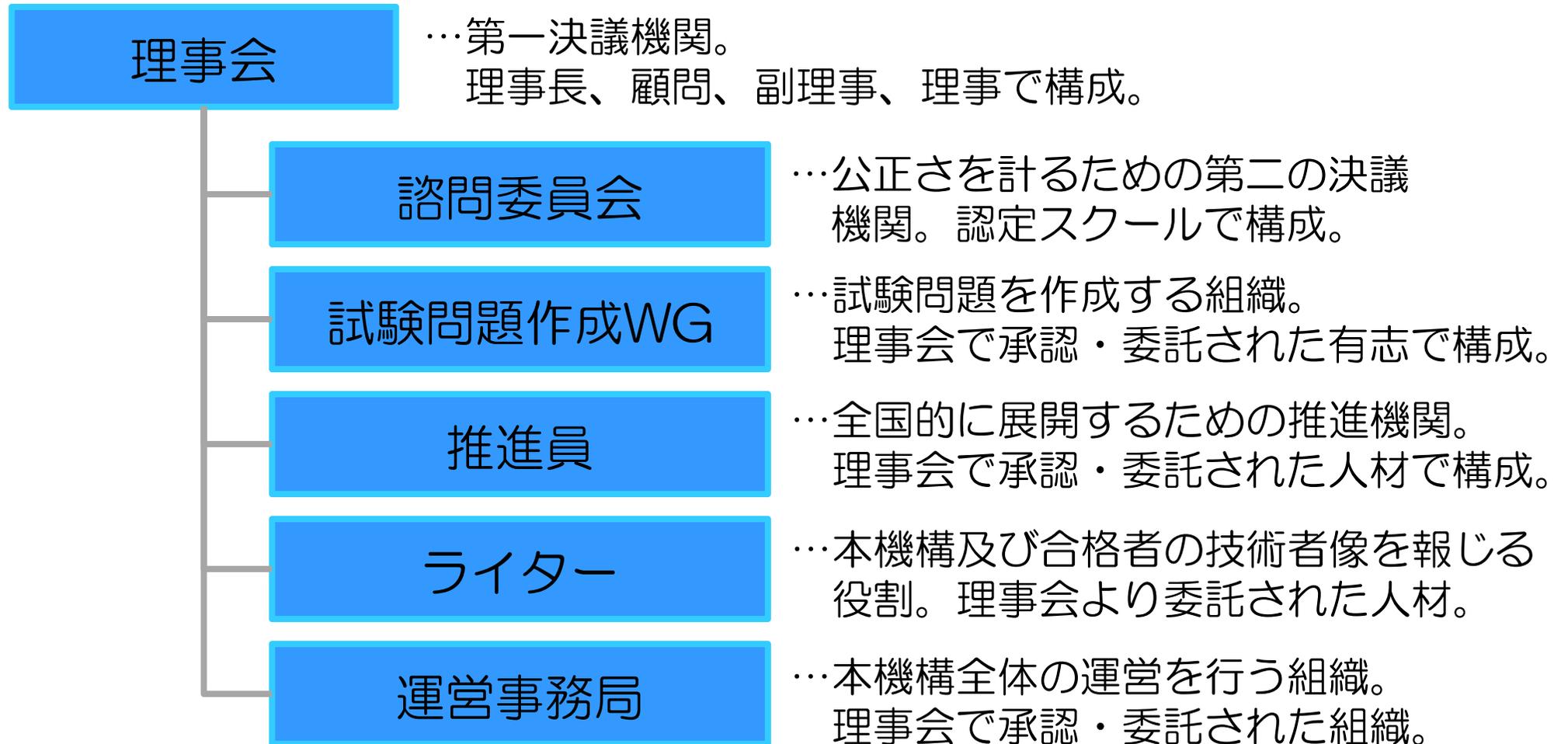
NPO法人 PHP技術者認定機構（予定）とは

- 設立予定時期 2010年10月
- 設立目的
 - ・ PHP 技術の普及や技術者育成の推進を目的とした活動全般
 - ・ PHP技術者認定制度「PHP技術者認定試験」の運営
 - ・ 出題レベルの諮問、教材認定
- 役員

理事長	伊藤 篤	(株式会社オライリー・ジャパン 編集長)
顧問	大垣 靖男	(エレクトロニック・サービス・ イニシアチブ有限会社 取締役社長)
	田中 正裕	(アシアル株式会社 代表取締役)
副理事長候補	桑村 潤	※技術責任者 初級試験問題担当
	永原 篤	※テクニカルマーケティング責任者 ※試験問題WGリーダー
	吉政 忠志	※経営責任者
理事候補	杉本 等	※情報システム担当
	高木 正弘	※上級試験問題担当
事務局長	吉政 忠志 (兼任)	
ライター	加山 恵美	
- その他発起人
- 諮問委員会 認定スクールにより構成されます
- 推進員 PHP技術者認定試験の推進的役割を担います
- 運営事務局 吉政創成で運営します



組織図



PHP技術者認定機構運営体制イメージ図

PHP技術者認定機構

出題基準・試験問題・主教材・副教材の認定、規約改定などの起案

事務局による起案のとりまとめ

諮問委員会による監査（過半数での決議）

理事会による承認（過半数での決議）

事務局・推進員による施行・運営

試験実施

スクール認定

教材の認定

インストラクターの認定

認定スクール



PHP技術者認定試験 推進員

■ 所轄

- 副理事長 吉政 忠志

■ 目的

- 認定スクールの獲得とフォロー
- 地域コミュニケーションの活性化

■ 諸条件

- エリア毎の人数制限はありません。
- 教育機関在籍者は対象外とさせていただきます。
- 本機構の承認がないものを除き、原則として交通費などの必要経費は各自負担とさせていただきます。
- 担当認定スクール1校につき、支援費用を支払います（認定スクール1校につき、担当推進員は一人）

■ エリア

- 北海道、東北、関東、北陸、甲信越、東海、近畿、中国、四国、九州、沖縄



認定教材の種別

■ 主教材

- 理事会で承認が得られた、オライリー・ジャパン出版によるPHP技術書籍

■ 副教材・Eラーニング教材

- 認定スクールより申請があり、理事会と諮問委員会で承認が得られた教材
- 承認手順：申請があった場合、理事会で指名・承認された人材が代表して申請レポートを作成する。その申請レポートを理事会及び諮問委員会で承認作業を行うことで認定とする。
- 申請料金：10万円（税抜）/教材
- メリット：「認定副教材」、「認定Eラーニング教材」の呼称を使用できる
- 補足：認定スクールは主教材を使用していれば、認定がとれていない副教材を使用することは可能です。

■ 試験対策本

- 申請者より申請があり、理事会と諮問委員会で承認が得られた教材
- 承認手順：申請があった場合、理事会で指名・承認された人材が代表して申請レポートを作成する。その申請レポートを理事会及び諮問委員会で承認作業を行うことで認定とする。
- 申請料金：10万円（税抜）/書籍
- メリット：「認定試験対策本」及び「PHP技術者認定機構 監修」の呼称を使用できる。
- 補足：本機構役員、諮問委員、認定インストラクターは本試験の対策用市販本の執筆はできません。



PHP技術者認定スクールについて

■ 参加条件

- 法人であること
- 年間10万円（税別）の参加費用の支払い
 - ・ 2011年3月までに申し込みをされた場合、2012年3月までの期間を初回分と換算します。
- 理事会での承認
- 認定インストラクターの在籍

■ 参加メリット

- 諮問委員会への参加が可能（試験問題の諮問が可能）
- 認定コースの実施が可能
- 副教材の認定申請が可能（10万円（税別）/回）
- フラッグの別途購入が可能（別料金）



PHP認定コースインストラクター

■ 条件

- 上級試験の合格（上級試験がスタートする前は初級のみ）
- 諮問委員会の承認
 - ・ インストラクター経歴の添付申請
 - ・ 経験が無い場合は、所属スクールの推薦状
- 規約への捺印

■ メリット

- 認定コースのインストラクターが可能
- 初級認定試験の試験監督

■ 認定費用

- 無償

■ 有効期間

- 当該試験が有効な期間と同じ





試験概要

P.15

Copyright © PHP技術者認定機構 発起人会 All Rights Reserved.

PHP技術者認定試験概要

- 目的 PHPの専門技術取得能力を正當に評価できる技術者認定試験を実施することにより、「認定者の雇用機会」や「認定者が所属する会社のビジネスチャンス」の拡大を図ることを目的とする。
- 種別と受験料金
 - 初級試験：12,000円（税抜）
 - 上級試験：15,000円（税抜）
- 試験会場 認定スクール会場でのペーパーテスト（初級のみ）
CBTテストセンター（開始時期は検討中）
- 前提となる技術水準や出題範囲（次章で解説）
- 初級試験概要 設問数 40問
時間 1時間
合格ライン 7割正解
出題形式 選択式（複数または単一選択）
- 上級試験概要 設問数 60問
時間 1時間30分
合格ライン 7割正解
出題形式 選択式（複数または単一選択）



PHP5 技術者認定試験 出題範囲 (方向性)

■ 初級試験

PHPプログラミングの基本知識を問う試験

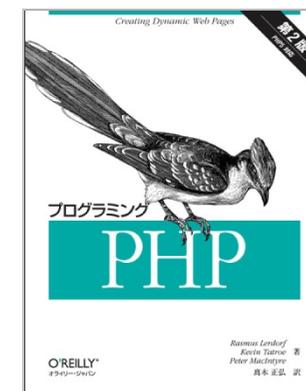
『初めてのPHP5』を主教材として中心に



■ 上級試験

PHPの言語仕様から実用的なプログラミングテクニックまでの知識を問う試験

『プログラミングPHP 第2版』を主教材として中心に



PHP5 技術者認定試験初級 出題範囲案（出題割合）

目次	出題割合
1章 オリエンテーションと始めの一步	0.06
2章 テキストと数の操作	0.08
3章 判定と繰り返しについて	0.08
4章 配列の操作	0.08
5章 関数	0.08
6章 Webフォームの作成	0.08
7章 データベースに情報を保存	0.08
8章 クッキーとセッションでユーザを記憶	0.06
9章 日付と時刻の取り扱い	0.06
10章 ファイルの操作	0.08
11章 XMLのパーズと生成	0.02
12章 デバッグ	0.04
13.8 クラスとオブジェクト（クラス定数も含む）	0.02
14章 日本語処理	0.06
付録B 正規表現の基本	0.04
付録D PHP5.1とPDO	0.02
追加1. セキュリティ(各章からのポイントの集約)	0.02
追加2. 出力バッファ(エラー処理。各章からのポイントも含む)	0.02
追加3. 定数・予約語	0.02



PHP技術者認定ベータ試験概要

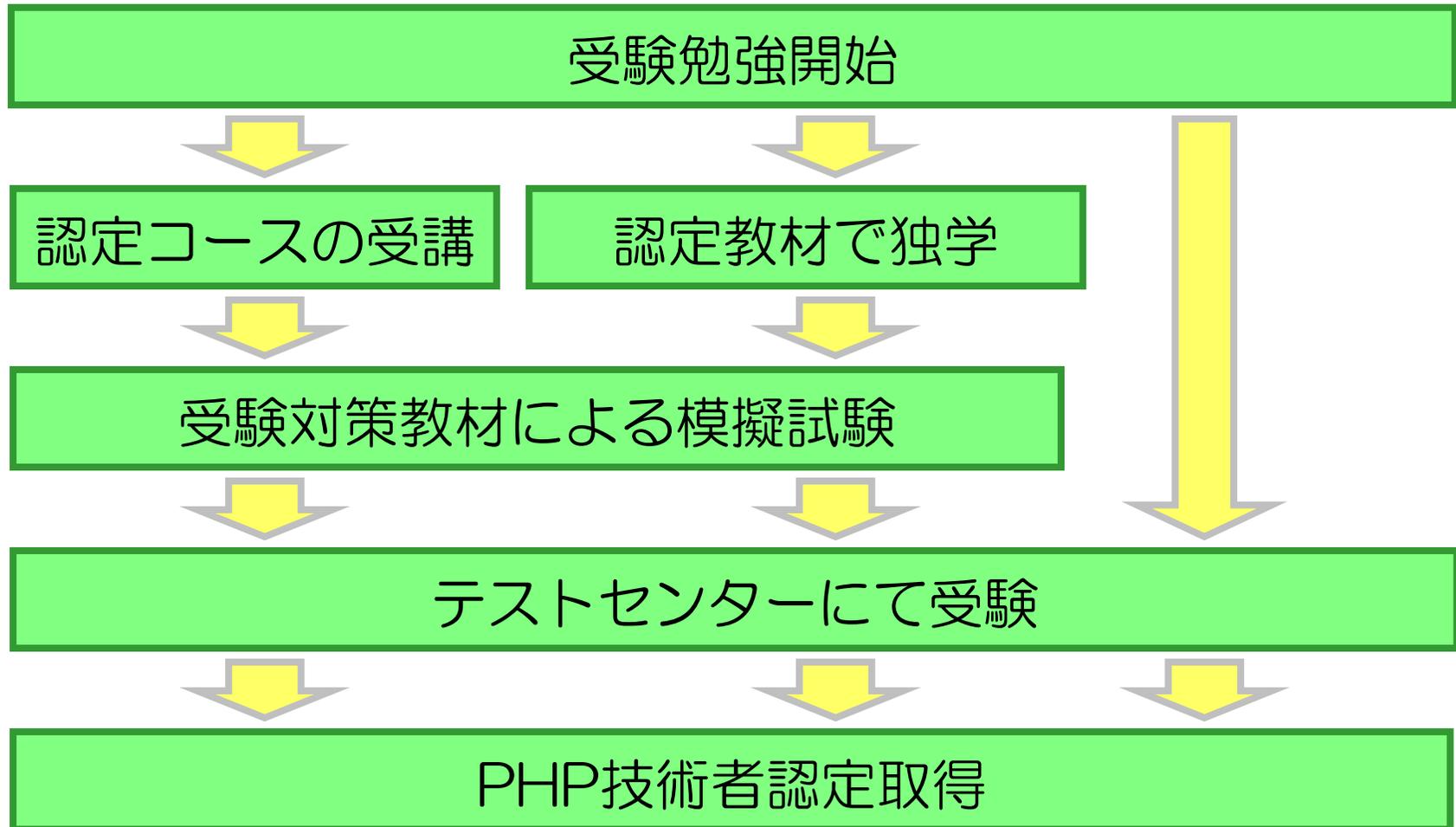
■ PHP5技術者認定ベータ試験初級について

- 実施時期 : 9月を予定しています
- 会場 : 東京を予定しています
- 受験費用 : 無償を予定しています
- 合格認定扱い : 本試験と同等に認定扱いとします
- 募集人員 : 認定スクール希望者を優先的に受け付けます



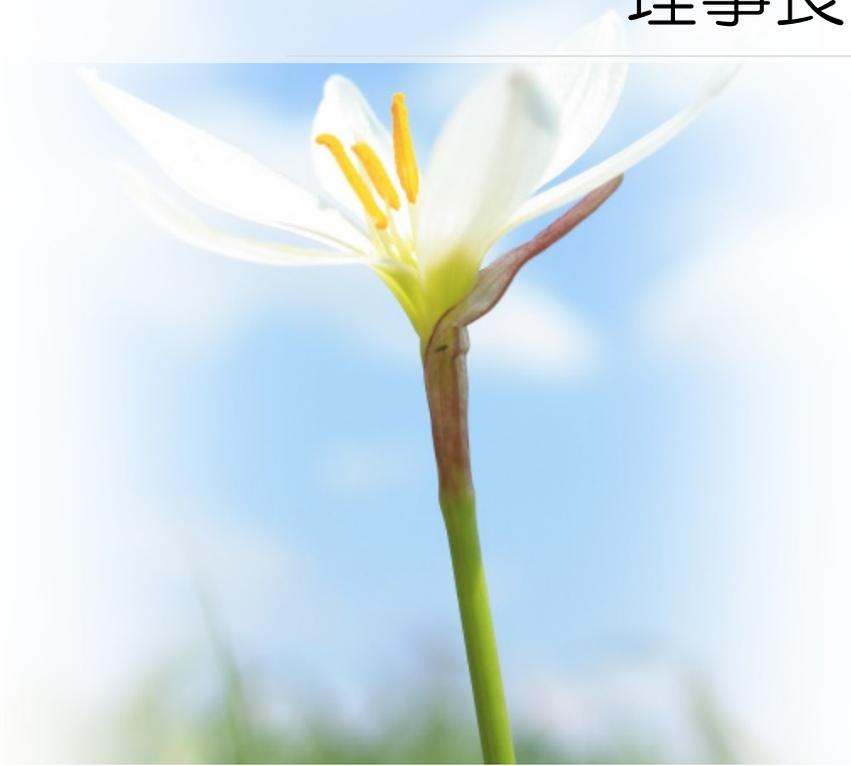
PHP技術者認定試験取得までの流れ

確実な合格の為に認定コースの受講をお薦めします。





理事長、顧問、副理事長のプロフィール



理事長候補：伊藤 篤 プロフィール

O'REILLY®

伊藤 篤
PHP技術者認定機構 理事長
株式会社オライリー・ジャパン 編集長

業界紙、出版社などでのライターや編集者を経て、1995年ごろよりWeb制作に関わる。様々なWebサービスやECサイトの企画制作に携わる。2002年から株式会社オライリー・ジャパンに参加。2004年より現職。“changing the world by sharing the knowledge of innovators”のミッションの下、オープンソース・テクノロジーを中心に、最新テクノロジーの書籍化に尽力している。



オライリーメディアとは(詳細は：<http://www.oreilly.co.jp/>)

「アニマル本」で開発者に知られているオライリー(O'Reilly Media米国本社)は、書籍やオンライン・サービス、雑誌、カンファレンスなどを通してイノベーションのナレッジを広めています。1978年以来、テクノロジーのトレンドの中で本当に問題となっていることや最先端の開発者たちが取り組んでいることに的を絞って、開発の最先端を記録し伝え続けています。



顧問候補：大垣 靖男 プロフィール

大垣 靖男

PHP技術者認定機構 顧問

エレクトロニック・サービス・イニシアチブ有限公司 取締役社長

University of Denver卒。同校にてコンピュータサイエンスとビジネスを学ぶ。(株)シーエーシーを経て、エレクトロニック・サービス・イニシアチブ(有)を設立。セキュリティやWebコンサルティングのほか、開発も手掛ける。著作は『Webアプリセキュリティ対策入門』のほか、『はじめてのPHP言語プログラミング入門』『[改訂版] PHPポケットリファンレス』(すべて技術評論社)など多数。

<http://www.es-i.jp/>



顧問候補：田中 正裕 プロフィール



田中 正裕

PHP技術者認定機構
顧問

Asial アシアル株式会社 代表取締役

1981年香川県出身。小学生を米ダラスとロサンゼルスで過ごし、インターネットを知る。中学・高校時代にはフリーソフトウェアやシェアウェアなどの作成を活発に行う。2000年に東京大学工学部への入学と共に、株式会社ホライズン・デジタル・エンタープライズ、株式会社キュリオシティのアルバイトを経て、2002年7月にアシアル株式会社を設立、日本初のPHP言語専門誌「PHP プログラマーズマガジン※1」を創刊。当時、大学3年生、21歳。その後、東京大学大学院を中退し、現職に専念。「超極める！PHP」や「日経ソフトウェア特集」、ITPro「PHPウォッチ」など多数の執筆 / 講演をこなす。

■PHP関連の主な著書

・symfony × PHP※2

■PHP関連の主なサービス

- ・PHPプロ！ (PHPプログラマーのためのポータルサイト)※4
- ・PHPスクール (PHP言語専門の教育プログラム)

■PHP関連の主な製品

・JpGraph (PHP用グラフ生成ライブラリ)※3



※2 symfony × PHP

※1 PHPプログラマーズマガジン



※3 JpGraph (PHP用グラフ生成ライブラリ)



※4 PHPプロ！
(PHPプログラマーのためのポータルサイト)



副理事長：吉政 忠志 プロフィール



吉政 忠志

PHP技術者認定機構 副理事長 経営責任者

吉政創成 代表

OSSコンソーシアム 副会長マーケティング委員長

当時のIT系各業界のトップベンダー・トップベンチャー企業を中心に17年間、新規事業の立ち上げや戦術転換によるV字回復を多く経験しました。日本のIT業界の発展のためには人材の好循環とその為の教育機関の発展が重要であると考え、教育分野にも尽力してまいりました。XMLマスター、Turbo-CEの初代責任者も歴任し、合格者を5千人以上輩出した日本発の民間IT資格を複数立ち上げた唯一の日本人として教育分野での実績があります。

■ 業界団体関連略歴

OSSコンソーシアム（旧：Linuxコンソーシアム）副会長（2004年～2010年）

LinuxWorldボードメンバー（2000年・2001年・2005年）

XML技術者育成推進委員会（XMLマスター運営母体） 事務局長（2001年～2003年）

文部科学省 ITフロンティア教育推進事業 XML教育プログラム委員（2001年～2003年）

XMLコンソーシアム 運営委員 兼 ContactXML部会リーダー（2001年～2003年）

ContactXML.org 事務局長（2001年～2003年）



副理事長候補：桑村 潤 プロフィール



桑村 潤
PHP技術者認定機構
副理事長 技術責任者
(PHP技術者認定試験初級技術担当)

1983年から科学技術関連分野のシミュレーションに携わり、1988年以降はシステム開発に従事するようになりました。当時はUnix上でC言語をベースに、シェルやPerlなどのスクリプト言語を組み合わせた開発が主でした。Unixの通信機能やDBMSを利用し、X Window System上にGUIを持つものでした。

Unixを使い始めてGNUなどのフリーソフトウェアの世界に足を踏み入れることになり、1992年から社内でもLinuxを使ったインフラの整備を始めました。その後、ネットワーク、ウェブ、データベース、統合認証などにオープンソースソフトウェアを適用する取り組みを行っています。

1995年頃から、WebサーバとDBMSの連携ができるということで、PostGRESとPHP/FI を使い始め、その後バージョンアップと共に現行のPHPを使っています。

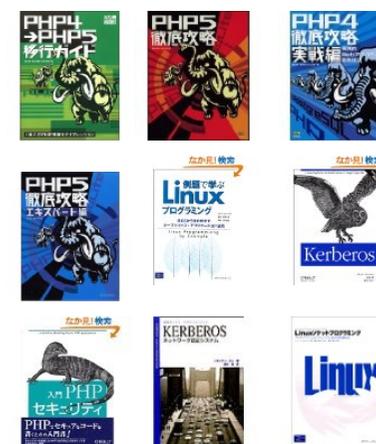
2006年以降は、オープンソースソフトウェアを利用したシステム構築、IT関連のコンサルティングおよび、実装調査や研究開発を行っています。

主な著書として、

- ・『PHP5徹底攻略』、『PHP5徹底攻略エキスパート編』(共著、ソフトバンクパブリッシング刊)
- ・『例題で学ぶLinuxプログラミング』(共訳、ピアソン・エデュケーション刊)
- ・『Kerberos』、『初めてのPHP5』、『入門PHPセキュリティ』(共訳、オライリー・ジャパン刊)
- ・その他、SoftwareDesign誌、DBマガジン誌での記事などがあります。



PHP技術者認定試験初級認定教材(予定)



P.26



副理事長候補：永原 篤 プロフィール



永原 篤

PHP技術者認定機構 副理事長 テクニカルマーケティング責任者

株式会社オープンソース・ワークショップ 代表取締役
NPO法人コモンズネット 理事
OSSコンソーシアム 理事、CMSビジネス部会リーダー

汎用機からクライアント・サーバ、WEBシステムと時代の流れに応じて業務システムを開発するプログラマーとして、また、企業の管理職として19年間システム開発に携わった後に独立。独立後は「損して得取れ」を理念とし、得意とするオープンソースCMSの導入やカスタマイズのコンサルティング・開発から運用サポートを行っています。また、日本のものづくりの技術を伸ばし、ITのメリットをより多くの人に届けるために、OSSコンソーシアムやNPO法人コモンズネットでオープンソースCMSの普及活動を行っています。

著書として、『私にもできちゃった! NetCommonsで本格ウェブサイト』
(共著、近代科学社刊)がある。

PHPカンファレンスジャパン2010 ゲストスピーカー
「NetCommonsでオープンソース・ビジネスモデルの実現」





PHP技術者認定機構 発起人会

〒157-0077東京都世田谷区鎌田2-14-9

php-exam@oreilly.co.jp

Mobile:080-3079-4441(窓口:吉政) FAX:03-3709-0841